

TM-0404

ネットワークニュース使用手引き

横塚 実 (JIPDEC)

高木 茂行

October, 1987

©1987, ICOT

ICOT

Mita Kokusai Bldg. 21F
4-28 Mita 1-Chome
Minato-ku Tokyo 108 Japan

(03) 456-3191~5
Telex ICOT J32964

Institute for New Generation Computer Technology

ネットワークニュースの使用手引き

目次

1	JUNETにおける、ネットワークニュースについて	1
1. 1	概要	1
1. 1. 1	初めに	1
1. 1. 2	ネットワークニュース概説	1
1. 2	ニュースを読むための準備	2
1. 3	SUNへの接続	2
1. 3. 1	ログインの方法	2
1. 3. 2	パスワードの設定方法	3
1. 3. 3	記事を読む	3
1. 3. 3. 1	記事を読むためには	3
1. 3. 3. 2	漢字の入った記事を読む方法	5
A.	漢字の入った記事を読む方法	5
B.	日本語のニュースを読むための準備	5
C.	readnewsの使用法	6
D.	rnの使用法	7
1. 3. 4	記事に回答するには	9
1. 3. 5.	記事を投稿する	10
1. 3. 5. 1	記事を投稿するには	10
A.	POSTNEWSの使用法	10
1. 3. 5. 2	記事の文字コード	11
1. 3. 5. 3	その他の注意	12
1. 3. 6	記事を取り消すには	12
1. 3. 7	moderatedとは	12
1. 3. 7. 1	moderated であるニュースグループに投稿する方法	13
1. 3. 7. 2	fj.announceについて	13
1. 3. 8	参考文献, マニュアルなど	14
2	初心者向け, JUNETの暮らし方	15
3.	メールリストとは何か	21
4.	現在 日本で購読しているmail-lists	23
5.	fjのニュースグループの一覧とその解説	27
6.	JUNETにおける漢字コードの取扱いについて	31
7.	著作権について	35
7. 1	著作権の構造	35
7. 2	著作権の発生	35
7. 3	無料のソフトウェア	36

ネットワークニュースの使用手引き

1 JUNETにおける、ネットワークニュースについて

1. 1 概要

1. 1. 1 初めに

JUNETで提供されるサービスには電子メールとネットワークニュースがあります。どちらもサイトからサイトへバケツリレー式に中継することによって、伝えられます。JUNETは各サイトのボランティアによって運営されています。各サイトは、隣接するサイトとの間のメール、ニュースのやりとりが円滑に行われるように維持管理作業を行います。

1. 1. 2 ネットワークニュース概説

JUNETが提供するネットワークニュース（以後単にニュースという）サービスは以下のようなものです。

- + ニュースとは電子掲示板システム（BBS）です。JUNETの住人は誰でも読むことができ、また投稿することができます。
- + JUNETの特性により（オンラインで常時つながっているわけではない）、ニュースの記事はそれを購読する全てのサイトに配られます（つまり、JUNETが専用回線を持ち常時オンラインでつながっているのであれば、記事はセンターホストに蓄えられ、利用者はそれをリモートファイルアクセスあるいはリモートログインで読むという形式になっていたかもしれないと言う意味。）そして、一定期間（各サイトの都合による）保存された後消去されます。
- + 記事はバケツリレー式にサイトからサイトへ伝えられます。
- + ボランティアによって分散管理されており、各サイトのニュースシステム管理者（計算機そのものの管理者と同じだとは限らない）と有志がニュースの受信、次のサイトへの転送等の機能の維持管理を行っています。
- + USENETのネットワークニュースシステムを漢字向けに改造したものを使用しており、上位互換性を有しています。また、漢字（2バイトコード）を使用しない場合には完全な互換性があります。
- + USENET上のネットワークニュースを受信しており、j u n e t上で読むことが出来ます。また、それに投稿することも出来ます。
- + いくつかのニュースグループは世話人によって管理されており、世話人に記事をメールで送ることによって投稿します。
- + 記事は各サイトで決まった場所（普通は/usr/spool/newsの下）に蓄えられ、読者はこれを読みます。ニュースは各読者ではなくサイトに対して送られると

いうことに注意してください。各読者が持つのは、それぞれの記事をすでに読んだかどうかの記録のみです。記事を読むためのソフトウェアには、readnews, vnews, rn, vn などがあります。

- + 記事は種類別にニュースグループで階層的に分類されています。一つの記事が複数のニュースグループに属することも可能です。ニュースグループは階層ごとにピリオド (.) で区切って表現します。

トップのニュースグループには次の様なグループがあります。

comp	comp はcomputerの略。コンピュータに関するニュースグループ。
news	news はニュースグループに関するニュースグループ。 一般アナウンスを含む。
soc	soc はsocial の略。社会に関するニュースグループ。
sci	sci はscienceの略。科学に関するニュースグループ。
misc	misc はmiscellaneousの略。雑多な話題に関するニュースグループ。
rec	rec はrecreationの略。趣味娯楽に関するニュースグループ。 日本には配布されていない。
talk	一時的討論ためのニュースグループ。 日本には配布されていない。
fj	fjはfrom japanの略。 日本国内のニュースであることを示す。

comp等のニュースグループにも日本側ゲートウェイの都合により配布されないものがあります。

たとえば、fj.editor.emacsというのは、日本(JUNET)のエディタに関する話題の内、とくにEMACSに関する記事を集めたニュースグループという意味です。

1. 2 ニュースを読むための準備

ニュース記事のどこまで読んでいるかをチェックするためのファイルとして、.newsrcが自分のホームディレクトリに存在する。

新規のユーザの場合は、ユーザ登録の時に標準的な環境が整っている。それを確かめるには、ls -aコマンドで.newsrcファイルが存在するかどうか調べること。もし無ければ、コマンド/usr/local/bin/Newuserを実行すること。

1. 3 SUNへの接続

1. 3. 1 ログインの方法

SUNとの接続

```
C S100>>c i c o t 3 2
l o g i n : ログイン名の入力
p a s s w o r d : パスワードの入力
```

注意1 もしパスワードを聞いてこなければ、まだパスワードを設定していないので、必ずpasswdコマンドでパスワードを設定すること。

1. 3. 2 パスワードの設定方法

ユーザ名%passwd

Newpassword:パスワード入力

Retype new password:パスワード入力

何回か問い合わせてくるので、同じパスワードを入力する。

1. 3. 3 記事を読む

1. 3. 3. 1 記事を読むためには

記事を読むためのソフトウェアにはreadnews,news,rn,vn などがあります。このうち、readnews,vnews はニュースシステムに標準でついてくるソフトウェアです。ニュースを受信しているサイトではどこでも、少なくともこの二つは利用できるはずです。rn,vn は非標準ですが、ソースコードがニュースで流れましたのでたいていの所で使えるはずです。

別の分類もできます。“v” のついているのとそうでないものです。vnews, vn はC R Tであることをなにかしら活用して視覚的な動作をします。なお、vnews, vn はC R Tターミナルでないとうまく動きません。

機能別にみまると、readnewsとvnewsの機能は全く同じです。ユーザインターフェースが違っただけです。

どのニュースグループの記事をどこまで読んだか、とか、このニュースグループは読まないという記録はホームディレクトリにある、newsrsrcというファイルに記述されています。‘readnews -n fj comp.lang.c’ というように、‘-n’ で読みたいニュースグループを指定します。‘fj’ と書くと、‘fj.’ で始まる全てのニュースグループを指定したことになります。個別のニュースグループに関しては、個々に読む読まないを設定できます。

基本思想は、

《指定したニュースグループの記事はすべて読む。記事、あるいはニュースグループを飛ばしたいときはそのつど陽にコマンドを与える》

ということになっています。

.newsrsrc の中に options で始まる行があると、その行の残りをコマンドラインで与えられたオプションとして扱います。options -n allという行を入れておけば vnews, readnews とだけ入力すれば全ての記事を読むことが出来ます。コマンドラインでの指定は、options での指定に優先します。

readnews

readnewsはニュースを利用者に記事を提示する機能を内蔵しません。moreやless等のPAGERをその中から起動することで行います。C R Tターミナルでなくとも使えますし、PAGERは自分の好みのものが指定できます。また漢字対応化の際、漢字対応のPAGERさえあれば、readnewsの改造は少しでよいと言う利点があります。欠点としては、フォローアップニュースやリプライメールを出す、記事をファイルにセーブする等の操作が、一度PAGERを終らないと出来ないという点があります。

vnews

vnewsは記事を提示するときに、端末がCRTであることを、活用しているプログラムです。readnews の様に、画面の下からずるずると現れるのではなく、画面上端から記事のヘッダーが表示されます。

また、画面下には常に現在読んでいるニュースグループ、現在の時間等の情報が表示されており、残りの画面で記事を提示します。

vnewsが他の3つとくらべて特徴的なのはモードがないということです。つまりいつも”記事を読んでいる”状態にあります。”記事を選択する”というモードはなく、読みたくない記事は、まずヘッダーだけ出た時点でスキップコマンドで飛ばします。行、1/2 ページ、1 ページの前進、後退などができ、もし、逆スクロールができる端末ならば、ちゃんとその機能を使います。記事の中の文字列を検索する機能はありません。

vn

vn は vnews とは対照的に、記事を選択する時に、端末がCRTであることを100%活用したプログラムであるといえます。各ニュースグループについて記事のタイトル一覧が画面に表示されそこへカーソルを移動させてスペースバーを叩くことで記事を読みます。

機能的には readnews, vnews とほぼ同じで、一部増えた機能もありますが、逆にvnではできない事もあります。(最近の改良でreadnews, vnews の機能が拡張され、機能の点だけから見ると劣るようになりました) vn 自身の中に持っているページャは前に進むか、記事の先頭に戻るかしかができません。page-back 機能があればと悔やまれます。

readnews, vnewsと同じく.newsrc のみを読み終えた記事の記録のために使用しており、その形式も共通であるため、readnews, vnewsと共存可能です。

vnが他の3つと一番異なっているのはその基本思想で、《読みたい記事だけ拾い読みしてあとは飛ばす》という理念にもとづいて作られています。fj はほぼすべて読むから vnews, それ以外は拾い読みだからvn と使い分けるのも賢い方法です。まだ読んでいない全ての記事のタイトルリストをまず作るため、起動に少し手間取ります。

rn

rnは提供する(ページャ部分以外の)機能において(今の所)もっとも拡張されたソフトウェアです。大ざっぱにいうと、機能を大幅に増強し、簡単なページャを内蔵するようになったreadnerws といったところですが。機能が多い故に .newsrsrc 以外のファイルも記録用に使用し、このため readnews, vnews, vn と共存出来なくなっています。vnews等を使って、.newsrsrcだけを書き換えてしまうと、他の記録用ファイルの内容と矛盾が生じ、ある記事を2回読まされるとかいった不都合が起き得ます。同じく高機能である分、動きが遅く、計算機に与える負荷も大きくなっています。これが rn が嫌われる(利用者だけでなく、たまたま同時にログインしている他のユーザにも)最大の原因で、しかし、高機能であるので、好んで使う人が非常に多いソフトウェアです。

これら4つを、いくつかの観点から比較してみますと以下のようにになります。

- * 記事を選択するときの操作性

```
readnews <= vnews < rn << vn
```

- * 選択した記事を読むときのページャとしての機能。readnews はページャに lessを使っているとして、

```
vn < rn < vnews < readnews(less)
```

ストリングサーチを使うような長い記事は滅多にないという観点からこうしましたが、ストリングサーチ機能を重視するなら、これのないvnewsは最下位になって

```
vnews < vn < rn < readnews
```

- * フォローアップニュースを書くリプライメールを出す、などその他諸々の機能

```
vn < readnews = vnews << rn
```

readnews 以外の3つにはそれぞれ特徴的な個性があり、それぞれにそれを愛用する人がいます。

1. 3. 3. 2 漢字の入った記事を読む方法

A. 漢字の入った記事を読む方法

readnewsに関しては、漢字が扱えるページャを環境変数PAGERに入れておけば All right です。PAGER が設定されていなければ、デフォルトのページャが使われますが、これがすでに漢字対応のものが設定されていることが期待できます。この場合は、何も設定しなくても漢字の記事が読めます。

vnews,vn,rn に関しては漢字対応ではありません。しかし、漢字の記事が扱えるように改造されたものが利用できます。

rnは漢字対応に書き直されたものが投稿されました。

vnは英語版にあてるパッチが投稿されました。これでオリジナルのvnを修正すれば漢字のニュースが読めます。

vnews は英語版と共用でないソースファイル(二つ)だけが投稿されました。英語版の vnews のソースと合わせると漢字vnews が作れます。

もし、あなたのサイトに無ければ、入手するように管理者に頼みましょう。ソースファイルは、スプールディレクトリの f.j.sourcesをさらえば残っているかもしれません。さもないと多分近くのサイトが持っているはずで、持っているしりあいのサイトがなければ、source-request@junetに請求すれば入手できます。最寄りの持っているサイトあるいは人を紹介してくれることもあります。漢字vnews は、saitoh@icstsl.osaka-u に直接請求しても入手できます。

B. 日本語のニュースを読むための準備

C I T-600の端末の場合

S e t _ u pで、MODEをC I T-600にする。

C. readnews の使用法

テレタイプ型端末でも使えるプログラムで、ユーザインターフェースとしては、もっともシンプルなものである。

readnewsを起動すると\$HOME/.newsrcで指定された各ニュースグループについてまだ読んでいない記事がある場合、次のようなメッセージによってその記事を読むかどうか訪ねてくる。

```
Article 記事一連番号 of 最大番号, 日時
Subject: 主題
From: ニュースの著者
(行数) More?[ynq]
```

ここで,[ynq]は、y=yes n=no q=quitなどのコマンドを入力することができ、単に改行キーを入力すると、もっとも左がわの選択枝が使われる。

この場合、y を改行キー、または単に改行キーの入力によって本文が表示される。記事が短い場合は記事本文の表示後、次の記事を読むかどうかのプロンプトが表示される。長い場合、ページャを通じて出力され、スペースキーをタイプすることによって1画面分ずつ記事を読むことができる。

ア) ニュースの選択

```
readnews [-a date] [-n newsgroups] [-t title] [-l]
```

```
readnews -n newsgroups
```

指定したニュースグループを選択し、読まれていないニュースを読むかどうか訪ねてくる。

```
readnews -t title
```

指定したタイトルを含むタイトルをもつニュースを選択し、読まれていないニュースを読むかどうか訪ねてくる。

```
readnews -a date
```

指定日時以降のニュースを選択し、読まれていないニュースを読むかどうか訪ねてくる。

```
readnews -a 26/01/19987
```

```
readnews -a last sunday
```

```
readnews -x
```

.newsrcファイルを無視して、既に読んだ記事も新しい記事と同様に選択する。

```
readnews -l
```

subjectのみを表示する。

イ) コマンド

- 前の記事に戻る。
- # ニュースグループの名前とサイズを表示する。
- b 1記事バックする。

c	記事をキャンセルする。投稿者またはスーパーユーザのみキャンセルできる。
e	この記事を読んだものとしてマークする。
K	このニュースグループ内の残りの総ての記事を読んだものとしてマークする。
n	現在見ている記事を表示せずに、次の記事に行く。
f	返答記事を投稿する。
N	次のニュースグループを読む。
q	終了する。
p	直前のニュースグループに行く。
r	メールによって返事を書く。
s [f i l e]	ニュースを指定ファイルに追加する。
U	このニュースグループをunsubscribeする。これ以降はそのニュースグループに来たニュースは特に指定しない限り表示しない。
x	.newsrsrc をupdateしない。
y	現在見ている記事を表示する。

ウ) 環境変数

EDITOR f コマンドで呼び出されるエディター
PAGER ページングプログラム。I C O Tでは必ず呼び出される。

D. r n の使用法

readnewsと大きく違うのは、rnでは入力がCBREAK状態であること、つまり多くのコマンドではCRまたはLFをたたく必要がないことである。

またニュースグループを選択した状態で、まだ読んでいない記事の話題の一覧を見ることができるので、興味あるものを選択する手助けになる。

さらに、通常は記事は到着順に表示されるが、ある話題に関するもののみを追って行くこともできるので、議論の経過がよくわかるようになる。

注意1 rnでは、.newsrsrcの他にもいくつかのファイルをホームディレクトリに作成するが、readnewsと併用すると一貫性が失われてしまうので、注意が必要である。

注意2 rnを最初に使用する場合、読みたいニュースグループを選択するため、/usr/lib/news/activeに存在するニュースグループのすべてに対して読むかどうか聞いてくる。(たくさん聞いてきますが、がまんしてね。最初だけですから。)

```
Newsgroup [j.bugs.4bsd not in .newsrsrc--add? [yn]
```

このニュースグループを読みたい場合、yと入力する。次に、.newsrsrcのどこに追加するかを聞いてくる。
[^ \$.] のなかから選択する。
^ は、.newsrsrc の最初に追加する。
\$ は、.newsrsrc の最後に追加する。
. は、現在位置の後に追加する。

通常はスペースバーだけで良い。

rnはニュースの選択に関して3つのレベル、ニュースグループ選択レベル、記事選択レベル、ページレベルに分けられ、同じキーでもレベルによって異なったコマンドとして解釈される。

ア) ニュースグループ選択レベル

このレベルでは、ニュースグループ名とまだ読んでいない記事の数を表示してそのニュースグループを選択するかどうかを聞いてくる。

```
***** 17 unread articles in fj.general --- read now? [ynq]
```

y またはスペースキー	そのニュースグループを選択する。
=	このニュースグループを処理し、記事の表示前に Subject の一覧表を表示する。
n	次のニュースグループに行く。
N	次のニュースグループに行く。
c	catch up。このニュースグループ内のすべての読まれていない記事を読んだものとしてマークする。
q	終了する。
P	1つ前のニュースグループに戻る。
l	最初のニュースグループに戻る。
^	最初のニュースグループに戻る。
\$	最後のニュースグループに行く。

イ) 記事選択レベル

ニュースグループを選択すると、最初の記事を表示した後、次にどうするかを訪ねてくる。

```
End of article 248 ( of 258 ) --what next [ynq]
```

n またはスペースキー	次の記事を読む事が出来る。
N	次の記事を読む。
^ N	同一Subject の次の記事を探して読む。
p	読まれていない記事を後ろ向きに探す。もしなければ、現在見ている記事に止まる。
P	前の記事に行く。
-	前に表示した記事に行く。
^ P	同一Subject の次の記事を後ろ向きに探す。
^ R	現在見ている記事在先頭から再表示する。
^ L	スクリーンを再表示する。
q	このニュースグループを終了する。
^	最初の読まれていない記事に行く。
\$	最後の読まれていない記事に行く。
番号	指定番号の記事に行く。
j	現在見ている記事を読んだことにする。
k	現在見ている記事と同じSubject のすべての記事

	を読んだものとする。
r	リプライを行う。
R	この記事の引用を含むリプライを行う。
f	記事のfollowupを行う。
F	この記事の引用を含む記事のfollowupを行う。
c	catch up。このグループの全記事を読んだことに する。
u	このニュースグループの購読をやめる。 (unsubscribe) [注意] *.general, *.announce.*はunsubscribe しないこと。
s ファイル名	ファイルにセーブする。 ホームディレクトリの下の子ディレクトリNews の下にファイルが生成される。 Newsサブディレクトリがなければ作られる。

ウ) ページャレベル

r nではmoreのようなページャを内蔵しており、長い記事は1画面分ずつ表示される。

--More-- (26%)

スペース	次のページを表示する。
d	次の半ページを表示する。
C R	次の1行を表示する。
q	現在の記事の終わりに行く。
j	現在記事を全部読んだものとしてマークする。
o L	スクリーンをリフレッシュする。
b	1画面分戻る。

1. 3. 4 記事に回答するには

記事に回答するには二つの方法があります。一つは執筆者にメールを出す方法で、もう一つはフォローアップニュースと呼ばれる、その記事に回答したニュースを投稿することです。先に紹介したニュースを読むためのソフトウェアはどれでもそのためのコマンドを持っています。

フォローアップを投稿するときには、もとの記事を読んでいない読者にために、記事の一部を引用したりします。このとき、引用した部分は行の頭に '>' をつけて、引用であることを示します。(記事中に '>' の引用が多すぎるとシステムに拒絶されることがあります。)

1. 3. 5. 記事を投稿する

1. 3. 5. 1 記事を投稿するには

記事を投稿するにはpostnews,Pnewsといったソフトウェアを使います。postnewsは標準で付属してくるソフトウェアです。起動すると、タイトル、ニュースグループ等を聞いてくるので順次答えます。すると、エディタが起動されます。デフォルトのエディタが気に入らなければ、EDITORという環境変数に使いたいエディタのファイル名を入れておけば、それが使われます。エディタで記事を入力します。すでに作成済みの記事があるのならそれを読み込みます。記事が出来上がったら、それを新JISコードに直します。最新のニュースシステムではこの変換は自動的に行われるので、そのままエディタを終了します。最新のニュースシステムではさらに修正するか、投稿を中止するか、送るかを聞いてきますので、“送る”(s)を選択します。古いpostnewsではエディタを終了すると即、送られます。

A. POSTNEWSの使用法

postnews - ニュースの記事を投稿する

postnews [article]

コマンド入力時に? を打つと、記事の Keywords (キーワード)等を入力する時除いて、可能な選択詞を表示するようになっている。

postnews を起動後まずなにかの記事に対するフォローアップかどうかを聞いてくるので、nと答え、続いて記事のタイトルを入力する(フォローアップでない場合)。

タイトルは読者がこれを見ただけで興味ある内容かどうか判断できるように、記事の内容を簡潔に表すものであること。

続いて、ニュースグループと配布範囲(distribution)を入力する。ニュースグループは複数指定可能であるが、f j. g e n e r a l, f j. m i s cを指定した場合には他のニュースグループは指定しない方がよい。なぜなら、g e n e r a lとm i s cは全員が読むはずだからである。

distribution は地理的または組織的な範囲を表す。? を打つと指定可能な配布範囲が表示される。配布範囲は記事の投稿の意図を満たす最小の範囲にするべきである。例えば、emacs の漢字化の話を漢字テキストでしたいとする、アメリカにいる人がその記事を読めるかまた興味があるかどうかははなはだ疑問である。

注意1 範囲を限定しなかった場合、その記事は不必要にも世界(日本)中に配布されることになる。現在、配布範囲をworldにすると、記事は日本国内だけでなくアメリカ合衆国、カナダ、ヨーロッパ、韓国等へ送られる。

distributionをfjにすると日本全体となる。I C O T以外に出すニュースとしてはこれが普通である。配布範囲を指定するヘッダーは、もしあるなら、記事のヘッダー部に入れられ、記事の配布範囲を指定する。

タイトル、ニュースグループ、配布範囲を入力した後、エディタが起動される。環境変数EDITOR が設定されていればそのエディタが起動される。さもなければ postnewsはvi(1)を使用する。

現在I C O TではGNUemacsを使うことが多い。

フォローアップの記事をポストするときは最初の質問にyと答える。つぎに、フォローアップしたい記事のニュースグループを入力する。そして、記事の番号を入力する。そうすると、その記事の差出人とタイトルが表示されるので、その記事でよいのかどうか確認する。目的とする記事なら、yと答える。その後、元の記事を引用するかどうか聞いてくるので、yかnで答える。タイトルは元の記事のものにR e : をつけたものが自動的に選択される。

タイトルとニュースグループを含むヘッダーの初期値と空白行一行がある状態でエディタは起動される。記事は空白行の後に書く。記事のヘッダーと本文の区切りとして空行は必ず必要である。もし、ヘッダーを変えたり追加したりしたければ、エディタの中にいる内に行う。タイトル、配布範囲等を間違えて設定した場合には、エディタ中で修正すればよい。

記事を打ち終えて（articleをsaveすることを忘れないこと）、エディタを終了すると、postnewsはコマンド待ちになる。ここで可能なコマンドは、記事の送信(send)、記事の内容のリスト出力(list)、投稿の取りやめ(quit)、再エディット(edit)、記事のファイルへのセーブ(save)である。セーブで既に存在するファイル名を指定した場合、追加ではなくオーバーライトされるので注意されたい。

注意2 外部に対してテストポスティングをしてはいけない。どうしてもしたい場合は、testグループにすること。それ以外のテストはpostmaster（横塚）に相談すること。

注意3 日本語のニュースを出したい場合（fjではほとんどが日本語のニュースである）、V A Xで日本語のニューステキストを作成し、F T PでS U Nに転送する。S U Nでコード変換を行う。

dec2jis <入力ファイル名>出力ファイル名
その後postnewsを起動してこのファイルを取り込む。

1. 3. 5. 2 記事の文字コード

J U N E Tではニュースの記事には俗に言う“新J I Sコード”とアスキーコードとを使うことになっています。8 b i t J I Sカナ（いわゆる半角カナ文字）は使えません。シフトJ I S、D E Cコード、E U Cコードは使用できませんので、J I Sコードに変換する必要があります。

使用できるコントロールコードは、改行、バックスペース、タブ、改ページです。これも、漢字シフトの外でおこなう方がよいでしょう。

記事を出れるだけたくさんの人に読んでもらうために、次のようなことに気を付けましょう。

- + J I S 漢字だけを使いましょう。
P C 9 8 0 1 等をターミナルとして使っていると、ついローマ数字や、(株)、丸に数字、といった字を使うことがあります。これはN E Cが拡張した文字で、J I S 漢字ではありません。他社のターミナルでは読めませんので使わないように注意しましょう。
- + 罫線素片は使わない。
J I S 漢字コードには表を書くための部品(罫線素片)がありますが、これはうまく標準化されていません。無かったり、あっても漢字コードがちがっていたりしますので、使わないようにしましょう。
- + 第二水準が読めない人もいます。

1. 3. 5. 3 その他の注意

ソースプログラムが欲しいときには、fj.wantedを使いましょう。fj.sourcesに投稿してはいけません。fj.sourcesの記事は後で請求されたときのために、保存されています。貴重なディスクスペースを絶対に参照されるはずのない記事で浪費することはよくありません。

環境変数 NEWSARCHIVE にディレクトリ名を設定しておくと、投稿した記事の写しがそのディレクトリの author_copy というファイルに蓄えられます。

1. 3. 6 記事を取り消すには

間違っしてシフトJ I Sの記事を送ってしまった場合のように、記事の内容に問題があって取り消したい場合、記事の送り主はそれを取り消すことができます。readnews,vnewsではそれを起動して、取り消したい記事が出てきたら、c コマンドを入力します。本当に取り消すかどうか聞いてくるのでyと答えます。rnではCコマンドです。vnではマニュアルページをざっと見渡した範囲ではこの機能は無いようです。(詳しく調べるとあるかもしれません)

取り消しはいつでも出来ますが、取り消しの知らせが各サイトに届くまでは貴方の記事は読まれてしまいます。ですから、投稿は慎重に。

1. 3. 7 moderatedとは

最初に誰でも投稿できると書きましたが、例外があります。それはニュースグループが moderatedである時です。直訳すると“司会者のいるニュースグループ”となります。このようなニュースグループにはひとりあるいは数人の司会者が存在し、ニュースグループの運営にあたっています。そして、そのニュースグル

ープに関しては、記事をネットに流すことが出来るのは司会者だけです。投稿するときには記事をメールで司会者に送ります。司会者は、それを読んで、配布するに値すると判断すれば、それをネットに流します。このとき、一部修正されたり、いくつかの投稿依頼をまとめて一つの記事を作り、それを配布したりすることがあります。

このような方式を取る理由はいくつかあります。

- + 記事の質を高く保つため。
U S E N E T の comp.sources などがこれにあたります。
- + 特別な目的があるニュースグループで、その目的に合致した、正確な記事のみを配布するため。
fj.announce などがこれにあたります。
- + 本質的に直接投稿されては困る場合。
fj.mail-lists.*がこれにあたります。これらのニュースグループは本来、メーリングリストという形でやり取りしている記事をニュースとして配布しているものなので、直接投稿してしまうと、メーリングリストで受け取っている人には届かないことになってしまいます。

1. 3. 7. 1 moderated であるニュースグループに投稿する方法

他のニュースグループに対するのと同様に、postnews, Pnews などを使って投稿すれば、自動的に司会者にメールで送られます。もし、この機能がうまく働かない場合は、/usr/lib/news/mailpaths というファイルの設定が間違っていると考えられます。

あなたの使っている計算機のニュースシステムの管理者に連絡してください。宛先は、ニュースグループの名前の “.” を “-” に変えたアドレスになっています。例えば、

fj.announce.newusers ならば、fj-announce-newusers@junet に送られます。これは司会者のユーザ名ではなく、仮想的な名前です。じつはこれから司会者に転送されるように設定されています。

海外のニュースグループの場合、たとえば、

comp.sourcesはcomp-sources@UUCP に送るはずなのですが、国際リンクの課金の問題があるので、comp-sources@kddilabs.junet に送ることになっています。

ニュースシステムのバージョンが古い場合には、moderated であるニュースグループへの投稿は拒否されますので、メールで上記のアドレスへ記事を送って下さい。

1. 3. 7. 2 fj.announceについて

fj.announce はJ U N E Tにとって特別な意味のあるニュースグループです。fj-announce@junet に送ってもよいのですが、このニュースグループは、「fjnews@junet」という宛名に送るようになっています。

(というより、アナウンスは、本来グループ管理人であるfjnews@junetの副業であったが、現在は本業になっている。)

さて、どのような内容をfj.announceに投稿すべきなのでしょう？

- 1) fj.generalと同じかそれ以上に、広くJUNETユーザが関心を持つと思われるもの。
- 2) 議論ではなく告知が目的の情報。
- 3) Mailがモデラータに届いて投稿される間に時期を逸しないような話題についての記事。

fj.announceの意義をよく理解して、有意義に利用して下さい。

1. 3. 8 参考文献, マニュアルなど

readnews, vnews, vn, rn, postnews, Pnews などはずべて、オンラインマニュアルがあります。もし、無いようだったら、管理者に言って、入手するか、/usr/manにインストールしてもらいましょう。

ニュースシステムには各種ドキュメントも付属しています。

+ standard.mn

Horton, M.R.: Standard for Interchanging of USENET Messages, RFC850
ニュースの記事の体裁や、配送方法等について規定しています。これを読んでおくと、一瞬効果的にニュースの読み書きが出来ます。

+ install.mn

Glickman, M.: USENET Version B Installation
ニュースシステムのインストール、管理方法について述べられています。管理者は読んでおくべきです。

+ howto.mn

Horton, M.R.: How to Read the Network News
ネットワークニュースとその読み方に関するtutorial です。

+ manner.mn

Bishop, M.: How to use USENET efficiently です。内容は、定期的に comp.announce.newusers に投稿されているA Primer on How to Work With USENET Community とAnswers to Frequently Asked Questions をあわせたものです。

2 初心者向け、JUNETの暮らし方

皆さんがこれから利用されるJ u n e tは何百ものコンピュータからなるネットワークです。技術的なことは他のドキュメントやシステム管理者に当たってもらおうとして、このメッセージではJ u n e tの文化や習慣について説明します。新しい利用者は必ず読んで下さい。

慣れた人も読んで記憶を新たにして下さい。

J U N E Tはボランティアによって運営されている論理的な実際に（ケーブルが走っているわけではない）ネットワークです。このネットを意義ある物にするのは、そのコンピュータを使う人々の力によります。このドキュメントはそのためのガイドです。

このドキュメントはJ U N E Tの使い方を教えるものではありません。J U N E Tをよりうまく使う為のガイドなのです。コンピュータによるコミュニケーションは多くの人にとっての慣れぬものなので、利用するうちイライラするような事が起こるかもしれません。このドキュメントはあなたがそんなわなに陥らない為のものです。

J U N E Tの使い方を習う楽な方法は他の人が使っているのを見ていることです。ニュースを読むことから始めて他の人がしていることをまねていけばけっこう。2～3週もすればいったい何ができて、何をすべきでないかわかってくると思います。ソフトウェアの使い方とかの技術的な事はいろんなドキュメントに書いてあります。それらはあなたがどのソフトウェアで（`rn`, `vn`, `readnews`, `vnews`, etc）ニュースを読んでいるかによって異なります。システム管理者に頼めばドキュメントのコピーをくれるでしょう。もし誰がそうなのか分からなければ、"`root`" あてにメールを出せば、たいていのシステムではシステム管理者とコンタクトできるようになっています。分からないことを聞くために `fj. questions` というニュースグループが用意されています。

2. 1 操作を間違っても慌てないこと

初心者のうちはよく間違ってフォローアップニュースや返事のメールを出すコマンドを起動してしまうことがあります。そうなっても慌てないで、近くの人に聞きましょう。ニュースやメールを出さずにそのコマンドから抜けることは出来るはずです。一般的には `vi` の `:q!` の様なコマンドで何も入力せずにエディタを抜けるといいはずです。また、もし、ニュースやメールを送ってしまったとしても絶望しないで下さい、ニュースの記事は取り消すことが出来ます。（普通にニュースを読んで自分の記事の所にきたら、`C` コマンドか、`c` コマンドを入力してみてください。ニュースを読むソフトウェアによっては違うコマンドかも知れません）。出してしまったメールは取り消せませんが、間違っただけで出しましたごめんなさいというメールをそれを追いかけて出せば済むことです。恐れなくて下さい。このような間違いはJ U N E Tに新しく参加したひと誰でもが一度は犯す誤操作です。誰もあなたを笑ったりしません。J U N E Tの先住民は中身がからっぽの（自分の記事に対する）返事のメールを受け取ることで”ああ新しいメンバーが参加したんだな”と思

うのです。

2. 2 ニュースのむこうにいるのは「人間」であることを忘れないこと

コンピュータ・ネットワークでは「向う側」にいる人の事を、すぐ忘れてしまいます。口頭ではとても言えないような相手を傷つける言葉を、平気で言える様な状況になりがちです。日本中の人が貴方の言葉を読んでいることを忘れないでください。貴方と意見の異なる人を攻撃しないこと。他人をおとしめるような発言をすればするほど人は貴方の意見を軽んじ、誰も貴方を助けてくれようとはしなくなりますよ。

もし貴方が誰かの意見に反対したいなら、まず心が落ち着くのを待ち、そのことについてよく考えてみましょう。コーヒー一杯飲むか、一晩熟睡して頭を冷やしましょう。感情的な反論ではなく良い議論をしましょう。早計な意見は問題をよりややこしくするだけです。面と向かって言えないような事は言わないように。

2. 3 簡潔にすること

短く言えることは、短く言うこと。短い文ほど、インパクトは大きい。貴方の書いた記事が長ければ長いほど、それを読む人は少なくなります。

2. 4 貴方の投稿には、反応が来ます

——自分の投稿に誇りを持てるように

JUNETの利用者達の多くは、貴方の事を知りません。貴方の事を、その文章で判断します。そしていつかその人達と同僚や友人になるかもしれません。その時になって困らないように、最低限、漢字の誤変換のチェックをし、文章の意味がちゃんと通るようにぐらいいはしましょう。著述は技術であって、練習が必要です。自分の文章で自分の値打が決められると思えば、少くらしい時間がかかってもいいでしょう。

2. 5 タイトルを付けること

Subjectの行は、読者が貴方の投稿を読むか読まないか決める所です。投稿全体を読む前に何が書いてあるのかを言う所です。「車売ります」よりも「83年型トヨタカローラ売ります。東京」の方が、f j. m i s cに出すのにより効果的でしょう（今の所、f jにはものの売り買い専用のニュースグループはありません）。読者も無関係な投稿で時間を無駄にしたくないでしょう。注意しておかないといけないのは、幾つかのサイトでは、s u b j e c tの行は一行分しか表示されません。s u b j e c tは短くポイントを押えて書きましょう。

2. 6 読者の事を考えよう

投稿する時は、どんな人々に読んでもらいたいのか、よく考えましょう。UNIXに関する質問を、fj.rec, animationに投稿しても、fj.questions, unixやfj.unixに投稿した時ほど、効果は無いでしょう。貴方のメッセージを最も広く、ではなく、最も意味のある読者にむけて出しましょう。

Newsをfj.generalあるいはfj.miscと他の幾つかのニュースグループに宛てて出すのは誉められた事とは言えません。もしある話題がなんらかのニュースグループに属しているなら、それはfj.miscなどには属していないのですから。

また、fj.generalは全ての人が読むはずのニュースグループですから、これと他のニュースグループに跨って投稿するのは無意味です。

あなたの出すメッセージがある特定の地域向けだったなら（例えばアパートや車の売買、会合やコンサートなど）、特定地域向けにニュースを出しましょう。ある地域ではそこ専用のdistributionを持っています。どんなニュースグループが利用出来るかシステム管理者に聞いてみてください。

テストメッセージを全世界向けのニュースグループに出さないように！ misc, miscに入っている”This is a test.”という無意味なメッセージのために、mailboxを溢れさせたくはないでしょう？ そんな時には、ローカルなニュースグループを使いましょう。そもそもシステム管理者以外はテストニュースを流してはいけません。

2. 7 ユーモアと嫌味の差について注意すること

対話と違って、声の感じや身振り手振りが入らないので、誤解が割と簡単に起こります。分りにくいユーモアはさけて、笑わせたいならはっきりとそうすべきです。ネットには、”smiley face”と呼ばれるマークがあります。”:-)”です。ユーモアで言っている場所にはこれを付けます。そうすれば、読者にもそれがユーモアのつもりであるのが分かるでしょう。

明示されないまま、風刺文が投稿されていることがよくあります。あなたがあるニュースを読んで腹を立てたなら、その文に”:-)”マークの付かない風刺が入っているのだと考えてみて下さい。目利きを自称する人は”:-)”マークを使うのを嫌がります。そんなときはfj.jokesあたりを読んでいるつもりになってください。

2. 8 同じ内容で何度も投稿しない

自分自身で判断できない時でないかぎり、複数のニュースグループに投稿はしないで下さい。どうしても複数のニュースグループに出したい

時は一緒に出す事。(ニュースグループを複数個指定して投稿することは可能です)二回に分けて出すと、データも二重に持たないといけないのでネットの負荷が大きくなるし、他の人に同じメッセージを何度も読ませる事になり失礼です。

2. 9 怪しげなメッセージは暗号化すること

幾つかのニュースグループで特定の人物(またはグループ)を攻撃するような記事が流れる事があります。こういった記事は読みたくないひとが、間違えて読まされることのないように暗号化すべきです。普通は" a "を" n "のように13文字後ろにずらす" rot13 "がよく使われます。その時には、" Subject : "の欄に" rot13 "と書いておきます。J u n e t用のソフトは大抵、暗号化、復号ができるようになっています。

U n i xなら(多分、皆さんU n i xをお使いと思いますが)、

```
tr '[a-m][n-z][A-M][N-Z]' '[n-z][a-m][N-Z][A-M]'
```

で出来ます。(もっと短く書けるU n i xもありますが、これならどんなバージョンでも動きます。「'」を忘れないように)

ただ漢字のニュースの暗号化をどうするかはまだ明示的な合意はありませんし、サイトによっては読めないこともあり得ます。御注意下さい。

例えば、これは××のネタばらしの記事ですよ。と記事の先頭に書いておいて、改ページ(^L)を入れるのも一つの方法です。

2. 10 フォローアップ(他人のニュースに対して答える事)は要約を付ける

誰かのニュースに対してのニュースを出す時は、いったいどんなニュースに対して答えているのか、簡単な要約を付けて下さい。これは、元の記事がどんなものだったか思い出すためではなく、あなたの意見を理解してもらうためにするのです。それに、場合によっては、元の記事より貴方の記事の方が早く着くサイトもあるのでありますから。

うまい要約は、元の記事の大事な所をはめこんでつくります。ただし元の記事を全部はめこんでしまって、読者をいらいらさせないように。たとえ、記事の全体に対する応答でも、話したい重要点だけを抽出するようにして下さい。最新のニュースを投稿するためのプログラムでは記事の半分以上が引用だと投稿を拒否します。その時には不必要な引用がないかどうか考え直しましょう。逆に引用が少な過ぎると、一体何の事かわからなくなりますのでこれも注意が必要です。

2. 11 要約とは、要点を集約することです

ネットワークになにか質問を出したら、フォローアップニュース、あるいはメールで返事がきます。もし、メールでもらった情報に重要そうなものがあればそれで分かった事を発表して、他の人の役に立つようにするのが、一般的な礼儀です。最も良いのはもらった答えを編集して、一本の記

事にして、質問を出したニュースグループに投稿することです。その時には、ヘッダーを取り去り、情報を統合し短くしましょう。できれば情報をくれた人への感謝など入れるとよいでしょう。

2. 1 2 フォローアップはニュースにせずに、メールでしましょう

フォローアップニュースを投稿するときにはよく考えましょう。本当に投稿する意味がありますか？ メールを送るだけで済むことではありませんか？ また、上げ足とりをしていませんか？ だれかの間違いを指摘するのはメールで行いましょう。いたずらに他人の名誉を傷つけることになります。

ある話題に対してフォローアップするときは既に言われている事を繰り返さない

フォローアップをニュースに流す時には、他の人のフォローアップを見て同じ事は繰り返さないように。

2. 1 3 著作権と契約には注意すること

何か、ネットに流したら、それは実質的にパブリックドメインになってしまいます。著作物の一部をネットに流す時、UNIX関係なら、AT&Tとあなたまたはあなたの会社、大学（その他の団体）が交わした契約に違反していないかよく考えましょう。映画評論や歌の歌詩、その他著作権のあるすべての出版物は、その一部を勝手に使う事により、貴方自身や貴方の会社、それにネットワーク自身に何等かの被害が及ぶことがあることに注意して下さい。

2. 1 4 引用したらちゃんとそう書いておくこと

何かを説明するため、何らかの事実を利用するなら、出典を明らかにすること。他人のアイデアを自分のものであるかのごとく使わない。貴方は貴方のアイデアを他人が自分のもののようには振舞うのを望まないでしょう。それと同じです。

2. 1 5 解答や楽しみを台無しにする情報は、マークをつけるか暗号化する

もし貴方が、例えば映画のあらすじを事細かに書いた映画評を投稿します。すると、それを読んだ人は映画を見ても、驚きが無くなって、とてもつまらなくなってしまうでしょう。そんなときはその部分を読みずにパスできるように、警告を入れておきましょう。間違ってもそんなところを読まないように、"rot13"などの暗号化をするという方法もあります。そういった記事を投稿する時は、"Subject:"の欄に"spoiler"と入れておきます。

2. 16 署名は大きすぎないこと

署名（ニュースの後についている）はなかなかいいものです。多くの人が”\$HOME/.signature”に入れておいて、記事の後ろに自動的に付くようにしています。しかし、過ぎたるは及ばざるがごとし。署名は全世界に貴方が何者なのか知らしめてくれます。けれど短く！ 記事の本文より長い署名は悪趣味だと思われますよ。署名の目的は貴方がネットのどの辺にいるか知らせるため、貴方の人生経験について知らせるためにあるものではありません。署名には有名サイトからのアドレスが買いてあって、返事を出すのに都合よくになっているべきでしょう。アドレスはシステム管理者に問い合わせれば、教えてくれるでしょう。

3. メールリストとは何か

mail-listとは、USENETやJUNETのニュースとは異なった形で運営されている情報交換のシステムです。

ニュースは、USENETやJUNETに接続されたほとんどのサイトに流れ、それを皆で読む形になっていますが、mail-listの場合、登録された各ユーザ個人に宛ててメールの形で送られてきます。

もともとは、ある特定のテーマについて興味を持つ人達のメールアドレスを登録したものをmail-listと呼んだのがこの名前の起源だと思います。

多くは、ARPAネット上で流通しているmail-listsですが、BITNETなどからのmail-listsもあります。（もちろん、USENETの世界にもありますし、JUNETにもあります。また、その組織内でローカルなものもあります。）

mail-listの仲間に入れてもらうためには、自分の加入したいmail-listの世話人(moderator)に登録を要請するメールを出し、そこに登録してもらえばいいのです。

たとえば、Macintoshに関するARPAのmail-listであるinfo-macの場合：

```
info-mac@sumex-aim.stanford.edu: 記事の投稿先
info-mac-request@sumex-aim.stanford.edu:
info-macのmail-listsに加入（脱退）するときの連絡先
```

となっていて、info-macにおくられたメールは、編集(moderate)されたうえで、mail-list登録者におくりだされます。（これは、例です。info-macはすでにUSENETのニュースとして読めますので、mail-list 請求の必要はありません。また、アドレスについては、あなたのサイトもしくはあなたが、学校であるのか、独自の海外リンクがあるのか、InetClubの会員かどうかにより変わってきますので注意してください。）

これはJUNETでの慣習(?)なのですが、同じmail-listを日本の多くの人が別々に登録すると、お金がもったいないし、同じ内容のmail-listが国際回線を占有してしまい非効率的なので、できるかぎり日本側の受け取りの窓口を一つにして、そこから日本国内の各ユーザに再配布することになっています。

また、1組織内であっても受け取り窓口をひとつにして、そこでさらに再配布することが好ましいでしょう。これもJUNETでの慣習(?)ですが、国内の受け取り人が多くなり、ニュース化してもよいようならば、fj.mail-listsなどの下でニュースとして再配布されるようになっています。

こうした再配布の際でも、mail-listの投稿方法は同じですので、ニュースによる再配布をニュースだと思ってニュースでフォローアップしてしまわないように。しかし、ほとんどのサイトでは、ニュースでフォローアップしても、mail-listの投稿先にメールで送れるようになっています。

したがって、

- 1 自分の欲しい情報があるmail-listを見つける。
- 2 日本で誰かが既に受け取っているかどうか調べる。
(fj.wanted, fj.news.groupあたりに投稿して調べる。)
もし、誰かが受け取っていれば、その人から再配布してもらう。
- 3 もし誰も受け取っていなければ、fj.news.groupあたりに、
かくかくしかじかのmail-listを購読するよと宣言し、
他に希望者がいるかどうか調べておく。
そして、そのmail-listのmoderatorに、要請のメールを送り、
情報を送ってもらうように依頼する。
- 4 情報が来るようになったら、他に欲しいと言った人にもちゃんと配布してあげる。

というような手順が妥当なのではないでしょうか。

[注意]

活発なグループの場合、驚くほどmail-listがメールできます。通信料金がかかっているということを忘れずに！受信者に直接、料金請求が行くわけではありませんが、海外とのメールのやりとりはkddlab経由に関してはすでに有料になっていますし、u-tokyoを経由するにしても現在、請求されないだけで費用がかかっていないわけではないのですから。。

ということで、再配布する利点がおわかりいただけますかな？

4. 現在 日本で購読しているmail-lists

これまでに確認されているmail-lists（日本国内に入ってきているもの）は、以下の通りです。

ぜひ、読んでみたいという方は、項目1で示されている日本におけるアドミニストレータまで請求のメールを出してみることをお勧めします。アドミニストレータの都合により異なりますが、たぶん数日で、返答が帰ってくるはずです。

ものによっては購読者が多いのでfjのニュースとして流れているものもあります。それらは、fj.mail-lists.*で読ことができます。

ひとつのサイトでふたり以上が購読するときは、それぞれのサイトにひとつ、窓口をつくり、そこからうけとるようにしてください。Common Lisp や SLUG 等は、1日に10通以上も送られることがあるので、再配布だって結構、大変なのです。

なお、JUNETのボランティア的性格からも理解していただきたいのですが、これらの再配布は、受け入れサイトの都合により中断することもあります。

下記の項目は、

0. どんなグループか

1. 日本におけるadministrator

2. もととのadministrator

3. 情報を投稿したいときの宛先

4. moderated

に関する情報が記述されている。

NEURONメイリングリスト

0. ニューロン・ネットワークに関連する様々な研究に関する話題

1. 大沢一郎

東京工業大学理学部情報科学科米沢研究室

neuron-request@is.titech.junet

2. Michael T. Gately

Texas Instruments, Inc.

gately@crl2@ti-csl.csnet

3. neuron@ti-csl.csnet

4. moderated

SLUG

0. Symbolics社のリスブマシンについて

1. news-request@nttlab.ntt

2.

3.

4. not moderated

L -- I I C A P

0. 障害者のためにコンピュータを使う事に関する議論

1. news-request@nttlab.ntt

2.

3. NU025213\$NDSUVM1.BITNET@WISCVM.WISC.EDU

4. moderated

I N F O - 1 1 0 0

0. X e r o x の S I P - 1 1 0 0 についての議論

1. news-request@nttlab.ntt

2.

3.

4. not moderated

K I T E S

0. 主に (スポーツ) 凧の作り方, 揚げ方, 催しについての情報

1. kites-request@koscovax.keio.junet ... for registration, deletion and
queries

Bpagumup Kazov

2. kites-request@harvard.harvard.edu

3. kites@koscovax.keio.junet ... for posting in Japanese

kites@harvard.harvard.edu ... for posting in English

4. not moderated

N e W S - m a k e r s

0. Purpose:

The discussion of NeWS: the Network/extensible Window System.

1. Request to subscribe or administrative purpose:

NeWS-makers-request@junet

2. Original Moderator:

don@brillig.umd.edu

3. Post message to JUNET people only:

NeWS-makers@junet

Post message to world-wide people:

NeWS-makers@brillig.umd.edu

from universities

NeWS-makers@brillig.umd.edu@kddlabs.junet

from companies

Current activity:

a few mails in a week (not so active now)

以下のグループは、すでに fj.mail-lists.* というニュースグループとして (texhaxはfj.comp.texhaxです) 配布されています。記事を投稿する時には、3 の宛て先に送ってください。

I N F O - J A P A N

- 0. 日本に関する情報。A R P A から。
- 1. news-request@nttlab.ntt
- 2.
- 3. info-japan@mc.lcs.mit.edu
- 4. not moderated

N I H O N G O

- 0. 日本語に関する情報。A R P A から。
- 1. news-request@nttlab.ntt
- 2.
- 3. nihongo@mc.lcs.mit.edu
- 4. not moderated

T e X H a X

- 0. T e X に関する議論
- 1. texhax-request@icot.icot.junet
- 2.
- 3.
- 4. not moderated

X - W I N D O W

- 0. Discussions about X window system
xpert is for x window itself and xport is for porting of x window.
- 1. xpert-request@junet, xport-request@junet
- 2.
- 3. xpert@athena.mit.edu, xport@athena.mit.edu
- 4.

C o m m o n L i s p

- 0. C o m m o n L i s p に関する議論をおこなう
- 1. news-request@nttlab.ntt
- 2.
- 3.
- 4. not moderated

以下のリストは、海外からの受信がもうひとつうまくいっていないようですが、参考として列挙します。（確定するまでは、問い合わせは御遠慮下さい）

オッカムメールリスト

- 0. オッカムに関連する様々な話題
- 1. you@canon.junet
宇田豊和
キヤノン（株）情報システム研究所 情報応用研究部
- 2. occam-request%sevax.prg.oxford.ac.uk@kddlabs.junet
Geraint Jones
- 3. you@canon.junet
- 4. not moderated

トランスビュータメールリスト

- 0. トランスビュータに関する様々な話題
- 1. you@canon.junet
宇田豊和
キヤノン（株）情報システム研究所 情報応用研究部 宇田豊和
- 2. occam-request%sevax.prg.oxford.ac.uk@kddlabs.junet
Geraint Jones
- 3. you@canon.junet
- 4. not moderated

5. fjのニュースグループの一覧とその解説

ニュースグループ名	解説
fj.ai	AI, 人工知能, 認知科学などに関する議論。 かなり活動的なグループのひとつです。
fj.announce	(直接投稿できない) 議論することが目的でないようなJUNETのメンバ全部にあてたお知らせ。直接このグループに投稿はできない。投稿すべき記事があるときはfjnews@junet に記事をメールで送ると, そこからfj.announce に投稿される。(くわしくは, 「fj.announce に投稿する方法」参照のこと)
fj.announce.misc	(直接投稿できない) 色々な学会や研究会や組織などからのお知らせに使用する。fj.announceが全員にあてたものであるのに対し, すこし限定色が強い。jus等を使用。
fj.announce.newusers	(直接投稿できない) JUNETのメンバーの内, とくに初心者, 新規参加者にあてたお知らせ。「JUNETの手引」はここにポストされている。
fj.binaries.mac	マッキントッシュのバイナリプログラムの投稿に使用される。といっても, オブジェクトそのものではなく, binhexなどでテキスト化したものであることは, いうまでもない。
fj.books	各種書籍について。ただしマンガについては, fj.rec.comicsを利用すること。新刊の案内とか, 読后感想から, 本に関することなら何でもよい。
fj.bugs	各種バグ一般について この下のサブグループはほとんど使用されていないので, ここに統合される予定であったが, 何故か? 生き残っている。本当に使わないと, これらは, この次には消されてしまいそうだ。
fj.bugs.2bsd	BSD 2.?に関するバグ
fj.bugs.4bsd	BSD 4.?に関するバグ
fj.bugs.uucp	UUCPに関するバグ
fj.bugs.v7	V7に関するバグ
fj.comm.comm	通信のハードウェアやソフトウェアなど諸般の事項についての議論
fj.comp.image	画像処理, コンピュータグラフィック, コンピュータアニメ, その他についての議論。
fj.comp.misc	計算機に関する様々な話題。
fj.comp.parallel	並列処理に関する議論。
fj.comp.printers	プリントのハードウェアやソフトウェアに関する話題。

fj.comp.texhax	TEXに関する議論, 意見交換など。
fj.comp.text	テキスト処理 (含むワードプロセッサ) に関する話題。 いての諸般の話題
fj.editor.emacs	EMACSに関する情報交換。
fj.editor.sse	津田塾大学の小川先生が作り, JUNETで公開し ている日本語エディタ SSE に関する情報交換。
fj.followup	各種の記事に対する, 特にfj.generalについての ”その後の議論”をここで行う。
fj.forsale	売り, または, 交換しようとする物についての情 報を提示する場所。詳細については個別にどうぞ。
fj.general	JUNETの全員に関係するような記事。たてまえ としては, JUNETのニュースの読者は, このグ ループを読むことになっているので, fj.general と他のグループの両方に同時に投稿する必要はない。 他に適切なグループがあれば, そこに投稿し, fj. generalには投稿しない。どこに投稿したらよいか分 からない場合は, たいてい, fj.generalに投稿すべ きでない。fj.misc にしなさい。
fj.info-terms	各種ターミナルに関すること。
fj.jobs	職さがし, 従業員募集, アルバイト募集など
fj.jokes	冗談に関する情報 (ではなくて冗談そのもの)。 毎年3月末にはエイプリルフールジョーク大会が 催される。実話でさえも, 冗談のようならば, こ こに投稿してもよい。無論, 脚色してもよい。
fj.junet	JUNETそのもの (運営, 組織) に関する議論。
fj.jus	jus (日本UNIXユーザ会) に関すること。 ただし, 告知はここでは行わない。
fj.kanji	JUNETにおける漢字の標準。その他, 漢字について。
fj.kermit	ファイル転送プロトコルであるKERMITについて。
fj.lan	ローカルエリアネットワークについて
fj.lang.ada	Adaに関する議論, 情報
fj.lang.c	Cに関する議論, 情報
fj.lang.forth	Forthに関する議論, 情報
fj.lang.lisp	Lispに関する議論, 情報
fj.lang.misc	グループに別れていない計算機言語, あるいは, 計算機 言語一般について。
fj.lang.mod2	Modula-2に関する議論, 情報
fj.lang.prolog	Prologに関する議論, 情報
fj.lang.st80	Smalltalk 80に関する議論, 情報
fj.lectures	fj.questionsと同類。聞かれてはいないけど, newuserに 教えてあげる というノウハウなどの知っているると便利な 事柄
fj.mail	ネットワークの電子メールについて
fj.mail-lists.common-lisp	(直接投稿できない)

ARPAから流れてくるmail-list。コモンリス
ブに関するニュース。

fj.mail-lists.info-japan (直接投稿できない)
ARPAから流れてくるmail-list。日本に関
するニュース。

fj.mail-lists.nihongo (直接投稿できない)
ARPAから流れてくるmail-list。日本語に関
するニュース。

fj.mail-lists.types (直接投稿できない)
ARPAから流れてくるmail-list。型に関
する議論。

fj.mail-lists.x-window (直接投稿できない)
ARPAから流れてくるmail-list。Xウインド
ウに関するニュース。

fj.misc
どこに投稿すべきか分からないとき。fj.generalのときと
同じでfj.miscと他のニュースグループの両方に同時に属
する記事はないと考えたほうがいい。fj.XXX.miscという
ニュースグループが幾つかできているので、出来るだけ
そちらに投稿すること。どうしても属すべきニュース
グループがないとき使う。蛇足だが、misc for misce-
-llanea, or miscellaneous newsである。

fj.net-people JUNETにおける人の情報。求人情報。尋ね人。

fj.news.adm ニュースシステムの管理者にとって有用な情報。

fj.news.b ニュースシステム(Bnews)についての情報。

fj.news.config
各サイトの接続関係に関する情報。
システムダウン(点検)の予定、計算機の入替え、
ドメインマスターの交代などなど。

fj.news.group ニュースグループの構成・作成・廃止などについての議論。
ニュースグループについての議論は、fj.general では行わ
ない。議論の結果は管理人により実行される。

fj.news.map サイトの結合情報、UUCPのマップ情報、地図的なこと
すべてについて。

fj.news.misc JUNETのニュース自体についての議論。

fj.news.newsite あらたなサイトがJUNETに参加したときにそのサイト
情報を投稿する。(同時に、junet-admin@junet にもメー
ルを送ること)

fj.news.sa (ニュース管理だけでなく)システム管理者およびその予備
軍にとって役立つ情報。

fj.os.msdos MS DOSに関する議論、情報。

fj.papers (あらゆる種類の)論文について。質問、サマリー、議論、
情報などなど。例えば、論文さがしとか。

fj.ptt PTT(Programming Tools and Techniques)という有志による
会合の情報。詳しくは、kakuda@uecまで。

fj.questions.junet
JUNETに関する質問とその解答

fj.questions.misc
各種の質問とその解答。

fj.questions.unix U N I Xに関する質問とその解答

fj.rec.animation アニメーションに関する情報、議論。

fj.rec.autos 自動車に関する記事

fj.rec.av AVに関すること

fj.rec.baseball 野球に関する情報、議論。

fj.rec.bikes オートバイについて。

fj.rec.comics マンガについて

fj.rec.food 料理、うまい店、健康食品などについての情報、議論。

fj.rec.games 各種ゲームについて

fj.rec.games.scores コンピュータゲームのハイスコアなどの記事

fj.rec.misc その他の楽しみについて

fj.rec.movies 映画についての情報、感想、議論など

fj.rec.music 音楽に関するあらゆることについての情報、感想、議論など

fj.rec.sf S Fについて。これがもりあがるのだよ。

fj.rec.travel 旅行に関する情報。身近な場所だって、出張だって旅です。

fj.rec.tv 各種T V番組（C Mを含む）について。音楽番組に関しては fj.rec.musicに投稿されることもあるようです。

fj.sci.lang 自然言語について。意志疎通、意味論、文法などなど。

fj.sci.math 数学について。パズル的なこともこちらへ。

fj.sci.misc その他、科学に関係したこと

fj.sigma Σ 計画に関しての情報、議論。

fj.soc.misc 社会現象、または、社会科学に関する議論その他

fj.sources ソースプログラムを投稿する。この管理は、
source-request@titech.junetが行っている。ただし、
投稿は自由である。

fj.sources.d 投稿されたソースについての議論、要求、バグ情報などはこちらへ。

fj.sources.mac マッキントッシュのソースを投稿する。

fj.std 標準（J I S規格等）に関する情報、議論（?）

fj.sys.famicom 任天堂のファミコンについての情報、議論。

fj.sys.mac アップルのマッキントッシュおよびリサについて。

fj.sys.misc それ以外のコンピュータシステム全般について。

fj.sys.pc98 N E CのP C 9 8 0 0シリーズ、および、P Cシリーズ全般。

fj.sys.sun S U Nワークステーションについて。

fj.sys.x68000 シャープのX 6 8 0 0 0について。

fj.test ニュースが無事動いているかどうかを調べるときに使われている。他のサイトにゴミを流すことになるので、
あまり乱用しないように。管理者以外は使用をひかえてください。

fj.unix U n i xについて

fj.unix.wizards U n i xについて高度な議論

fj.wanted なんらかの情報について知りたいとき。X Xというソフトが欲しいなどという問い合わせはここに出し、
fj.sources は使わない。

6. JUNETにおける漢字コードの取扱いについて

JUNETで使う漢字のコード(系)についてはいろいろ議論され、現在もされております。しかし、コード系に関する協約事項については、大筋についてはほぼ合意されておりますが、詳細についてはまだ合意が完全には出来ないままになっています。現在のネットワークにおける漢字コードの協約事項を合意点について述べてみました。こんなものでどうでしょうか。

- 1) JUNETで議論した漢字コードはネットワークに流す、メール、ニュースなどコミュニケーションのためのコードであって、各システムがローカルにどんなコードを使うか、および、メールにおいて既知の二者間で使用するコードには関与しない。

例えば、このコードによるメッセージについては、ネットワーク上での伝達が保証されるし、されるべきである。しかし、それ以外のコードを各組織の内部で使用する、伝達を保証することは特に規制しない。しかし、少なくとも組織間の通信においては、このコードの協約を守れるようにしてほしい。

つまり組織で協約以外のコードを使用することは可能であるが、組織からニュースが出る場合には協約のコードに変換すべきであり、かつ、組織へ入る協約のコードを使ったニュースは変換するなどして受理できるようにすべきである。

同様なことは、既知の二者間のメールにもいえる。二者間の伝達経路において、協約以外のコードの伝達が保証されており、かつ、その確認ができていれば、その二者間で協約以外のコードを使用することは特に規制しない。しかし、既知の相手でなく、伝達の保証が確認されていない場合は、協約のコードを使用すべきである。

- 2) コミュニケーションのコードは、もはや国内だけの問題ではないのでISOに準拠したコード系を使う。

すなわち、

JIS X0201 (C6220) の7単位符号

JIS X0208 (C6226) の漢字符号系

JIS X0202 (C6228) の符号拡張法

を使用する。

- 3) アナウンサー等は一切省略する。そして、アナウンサーが省略されているものとして扱う。

現在、漢字に関するエスケープシーケンスとしては、

ESC \$ @
ESC \$ B

ESC (J
ESC (B

のいずれをつかってよい。しかし、

ESC (H

は使わない。これについては、必ず別のシーケンスにすること。

また、これらの4つのシーケンスのいずれについても、保存して伝達しなければならないし、それを保証する。

例えばあるサイトでローカルにESC-\$-BはESC-\$-@とみなすということにするのは自由であるが、メール、ニュースをリレーするときに、ESC-\$-BをESC-\$-@に書き換えてしまってはいけない。

(ただし、シーケンスの保存については、サイト間相互に了解がある場合にはその限りではない(また、保存しなくても当面問題はないのではないかという意見もあったことを付記しておく))

- 4) ファイル末では、ASCII/JIS Roman 選択をして、改行をしてから終る。すなわち、メッセージの終了は、必ず英字選択(漢字をぬける)をした後でなければならない、かつ、最後は改行(行を終了している)でなければならない。

- 5) いわゆる半角カナは使わない。

JIS X0201(C6220)の8単位符号のカナのことであり、8ビット目が1の場合だけでなく、SI、SOによってシフトした場合の半角カナについても同様である。すなわち、半角のカナは使用しない。

また、現在のニュースシステムにおいては、[^]O、[^]Nについては、無視し、伝達していない。このため、SI、SOを使用して、半角カナを表現しようとしても伝達できないようになっている。

以上から明らかなように、この協約では、コードは7ビットのコードのみを使用している。

というのは、8ビットコードが通過できない場合があるからである。例えば、4.3BSDのsendmailはそのままでは8ビット目を落としてしまうし、またMHもそのままではincの際に8ビット目を落としてしまう。さらに、ニュースシステムも同様である。

このような状況にあるので、ユーザは、例えそれがメールであったとしても8ビットのメッセージがそのまま送られると仮定して、試験しないで使用したりすることは危険である。さらに、中継サイトのバージョンアップによ

って8ビット伝達が不可能になることもある。十分注意されたい。

さらに、7ビットであっても、制御コード(< 0x20)のすべての伝達が保証されているわけではないので注意されたい。少なくともエスケープ、改行、タブなどの制御コードについては、伝達は保証されるし、保証しなければならない。

コードの協約について、ここまでは特に問題無いと思います。

以後は”せねばならない”から”望ましい”という形の協約になっています。

6) 一行はエスケープを含め255バイトをこえないこと。

また、これを超過する長い行については、その伝達を必ずしも保証しない。そのようなメッセージを送った場合に、転送されなかったり、行が途中で切れたり、その行から後ろの部分が無くなったりしても文句は言えない。

(これは、伝達のためのソフトウェアが持つ、メッセージ用の行バッファのサイズの限界から来る制限です)

7) 漢字列の中では、改行コードはなるべく使わない方がよい。

行をまたいで漢字を継続する場合でも、改行前に、一旦、英字選択をし、改行後、行の先頭であらためて漢字選択をするようにする。

(これはless等のPagerでファイル中をあちらこちら見て回る人のための配慮です)

8) 漢字列の中に(2バイトコードに混じって)タブ、バックスペース等の制御コードおよびスペース(0x20)が入ることは構わない。
ただし、漢字列中に混在した制御コードが来ても制御できないような端末やソフトウェアを使っている人がいることを思いやり、混じらないように、改行コードと同様な処理を行う方が好ましいといえよう。

9) 一行は、画面で、あるいは、ハードコピーをとって読んだ時(つまり、エスケープシーケンスを除外し、タブを展開し、バックスペースは戻した時)70-76文字以下であることが、なるべく望まれる。

(これは、一行に80字を表示できるディスプレイを仮定し、さらに、漢字の折りかえしがあると画面がうまく動作しないものがあることを考慮し、何回か引用され行頭に数個`>`などが付加されたメッセージの表示をしても、そうしたディスプレイで行の折り返しが出ないための配慮です)

- 10) 上記の協約に反したり、各種の制約のある端末やソフトウェアを使用することが多いサイトでは、それに対処したフィルター、ページャをユーザに対して用意したり、ニュースやメールのシステムを改良するべきである。

例えば、漢字コード中には一切1バイトコードは混じってはいけないという場合には、それに対応したr nなどのソフトウェアがfj.sourcesなどに流れていることが多いので、それらをインストールするべきである。また、moreは早く捨てて'漢字less'にすることで、能力を上げるようにするべきである。

また、ESC- (Hしか受け付けない端末や、シフトJISしか使用できない端末を使っているとか、シフトJISやEUCの日本語UNIXを使用しているサイトおよびユーザは、外からのJUNET協約のコードによるメッセージを自分のコードに変換するフィルタや、外へ出す場合のフィルタの作成や、ソフトウェアの改良などを行うべきである。

自分のサイト/端末の制限や特殊事情をJUNETの制限にならないように心がけるべきであろう。

最後に、常にネットの向う側の読む相手のことを考慮し、かつ、中継されて伝達していくことを考慮して、ニュースやメールを書くようにしましょう。

7. 著作権について

ニュースの記事に書籍、TV番組の内容等を引用するとき、ネットで流れたソフトを改造して発表したり、他人にあげたりする時、などなど。我々は著作権とは無縁ではられません。知識として読んでおきましょう。そして、人の著作権を侵害しないように気を付けましょう。自分の著作権を侵害されたく無かったら、ひとの著作権も（逆に）尊重せねばなりません。

PDSの日本における取扱については、今、議論が沸騰しているところですので、この機会によく考えましょう。

ソフトウェアについては、現在日本では、原則として（特許権と）著作権で保護されるようになっていきます。ソフトウェアを会社で作成したら、あるいは、外注で作成したらどうなるという問題については、特に会社組織の方は無感心ではられないはずです。そういう点からも、著作権については知らないより知っていた方がよいでしょう。学生の方も知っていた方が、知らないよりはいいに決まっています。（なにしろ法律というものは「無知ハ、コレヲ罰ス」というようになっていて、“知らない”ではすまされませんから）

PDSの著作権に関しては、特に別の項目として、現在fj.junetで検討されている案を示したいと思っています。

7. 1 著作権の構造

著作権は大きく分けて

- 公表権 : 公表されていない著作物を公表する／しない権利
- 氏名表示権 : 著作物に氏名を表示するか否か、実名で表示するか変名で表示するかを決める権利
- 同一性保持権 : 著作物の内容・題名を著作者の意図に反して変更させない権利

の3者から成る著作者人格権と

複製権、上演権、放送権、口述権

などから成る著作者財産権の2つに分けられます。単に著作権といった場合、著作者財産権を差すのが通例です。著作者財産権は譲渡の対象となりますが、著作者人格権はなりません。著作者財産権は保護される期間に限りがありますが、著作者人格権の保護期間に期限はありません。

7. 2 著作権の発生

日本の著作権法では著作権は著作物を創造した時に発生し、「いかなる方式の履行をも要しない」（日本の著作権法17条2項の記述）とされています。これを無方式主義といい、アジア・欧州の諸国の多くはこの無方式主義です。

一方、方式主義をとる南北アメリカ諸国（合衆国を含む）では

- (1) "Copyright" または "copr" または 丸の中に "c" を入れた記号
- (2) 著作権所有者の氏名
- (3) 最初の発行年

の3者が記載されている著作物に限り著作権法で保護されます。その際3者の記載の順序は規定されていません。

日本の著作物の多くにも

Copyright 1987 山田太郎

といったような記載が見られますが、これは方式主義をとっている国に於いても保護される為の記載であって、これがなくても日本国内を始め無方式主義の国では保護されます。

7. 3 無料のソフトウェア

「パブリック・ドメインのソフトウェア」と「無料で入手できるソフトウェア」とは決して同義ではありません。パブリック・ドメインのソフトウェアとは著作権者が著作権の行使を放棄したソフトウェアであり、そのソフトウェアをどの様に使おうと全く自由です。著作権侵害は刑法で罰せられる訳ではありませんから、著作権者が権利を放棄している以上、そのソフトウェアに関してあれこれいえる人は存在しないことになります。

無料で入手できるソフトウェアでも依然として著作権者が著作権を放棄していないものがあり、こういったソフトウェアは著作権者の許諾の範囲で使用するようになります。例えば GNU Emacs は無料で入手できますがパブリック・ドメインではなく、「自分がコピーを配る時はソースを付けるか、若しくは、受け取った人がソースを入手可能でなくてはならない」などの著作権者による制限を守らなければなりません。

その他 著作権に関する事柄としては

- ◆著作されたものに関してはそれがたとえ私信であっても全て著作権が及びます。従って自分が受け取った私信を公開する場合には著作権者の許諾が必要になります。
- ◆公表された著作物は、出所を明示することによって、正当な範囲を越えない限り、引用することができます。
- ◆85年6月の著作権法改正（施行は86年1月）によりコンピュータ・ソフトウェアが著作物として著作権法で保護されることが明文化されています。
- ◆著作権法による保護期間は、個人による著作物は著作権者の死後50年、共同著作物については最後に死亡した著作権者の死後50年、団体の著作物は公表後50年です。

といったことが挙げられます。

参考図書：

「著作権法早わかり」，小林一博著，教育社

「著作権のノウハウ」，半田正夫・紋谷暢男編，有斐閣

「著作権ハンドブック」，文化庁編，著作権資料協会